

今月の PICK UP



『サトコとナダ』1~4 ユペチカ/著 西森マリ一/監修 星海社 302.2 ユ

日本出身のサトコと、サウジアラビア出身のナダ。2人はアメリカでルームシェアをしながら留学生活を送っています。はじめての異国暮らしに戸惑ったり、お互いの文化や習慣の違いに感心したり毎日が、4コマ漫画形式で綴られます。

国際交流や異文化理解といった大きなことについて話すとき、ついつい主語も「日本人は」「ムスリムは」と大きなものになってしまいがちです。しかし、その大きなものが、肝心なものを隠してしまうこともあるでしょう。まず大切なのは、サトコがナダに言ったように、目の前にいる「あなたを知りたい」という気持ちなのかもしれません。

『天才による凡人のための短歌教室』 木下龍也/著

ナナロク社 911.1 キ



本書は、短歌を作る技術はもちろん発想法、短歌の価格、歌人としての生き方などが書かれています。全体的に命令調で書かれていますが、押し付けがましさは感じられません。むしろ共感さえ沸いてきます。著者による、すべて読むことをお勧めしたい三十冊の短歌集も紹介されています。短歌って何?という方に読んでほしい一冊です。

司書の
おすすめ



『人生100年の家づくり』 建築知識/編 エクスナレッジ 527 ケ

“人生100年”いろいろなところでよく耳にするようになりました。

健康寿命を延ばす要因の一つとして、近年、住環境が注目されているそうです。健康で安全に日常を送るために、室内・外にどんな工夫をすればいいか? 建築・医学・睡眠など、様々な分野の研究データと共に、分かりやすい言葉で要点をまとめた“長寿ポイント”が随所に盛り込まれているので、今後、リフォームや住み替えを検討する際に参考になると思います。



『お寺の掲示板』 江田智昭/著 新潮社 180.4 エ



お寺の掲示板が気に入りだしたのは、通勤途中のお寺に毎月言葉が変わる掲示板があったからです。渋滞でちょうど門前に車が止まることが何度もあり、何気なく掲示板を読む事が習慣になっていました。その時の自分にぴったりの言葉が書かれた時は、本当に救われたような気さえました。

この本にも、短いけれど深い言葉がたくさん載っています。解説もあるので、よりよく理解できます。自分の心に刺さるのは、その時の自分に足りないものがあるからでしょう。この本で自分に足りないものに出会ってください。



『<レンタルなんもしない人>というサービスをはじめます。』

レンタルなんもしない人/著 河出書房新社 673.9 レ

これはどういうことだろう、と不思議に思うタイトルです。実際に寄せられた依頼は、なんもしなくていい内容ばかり。例えば、お引越す際に見送りをしてほしい、恋人ののろけ話を聞いてほしい、小説を書くのを見守っていてほしい等々。依頼者の思いは様々で、他人にだからこそ気軽に依頼できることが多くあるようです。

実体験の書であるがゆえ、「何もしない人にも価値はある」という著者の言葉に納得させられます。

